

死

体と接する職業は、医者や警
官、葬儀業者だけとは限らない。
今の世の中には遺品整理屋とい
う業種もある。この仕事についてさ
つと説明すると、「人が死亡した際
に遺される家財一式を、遺族に代わ
つて整理・移動・供養等を専門に請
け負う業者」となるのだが、過酷な
現場に立ち会う機会も少なくない。

ドアを開けたとんに死体の腐乱臭
が猛烈に鼻を襲い、ハエが飛び交い
ウジが這い回るなか、作業せざるを
得ないことも頻繁なのだ。

そんな現場で出くわした数々のエ
ピソードを綴ったのが、『遺品整理
屋は見た!!』 天国へのお引越しの
手伝い』である。一昨年9月に発売
され、話題となつた書籍の第2弾。
つい、壮絶で生々しい現場を覗き見
したい思いにかられてしまいそう。
しかし、そんなつもりで本書を読み
進める、手痛いしつべ返しをくら
う。そして、不謹慎を恥じ入ること
になるのだ。

本書に登場するエピソードのうち、
多くを占めるのが孤独死である。家
族や親戚と疎遠で、近所に友人も知
り合っていない。

人もいなくて、誰に看取られること
もないまま自宅でひつそりと亡くな
るといったケースだ。このところ孤
独死が増え、社会問題化しつつある。
だが、多くの人は他人事と思つてい
るのではないか。独り暮らしを送る
者は、誰だって孤独死の可能性があ
るというのに。

そこで本書は、孤独死を防ごうと
切に訴える。仕事を自ら体験した事
例に触れ、孤独死について読者に考
えさせる。日本初の遺品整理専門会
社を立ち上げた著者によるメッセージ
だけあって、説得力は十分だ。

つまり本書は、変死体现場のグロ
テスクな模様を伝えるよくな本では
断じてない。ひと昔前とは家族のあ
り方が変わり、地域住民の交流も希
薄になつた現代における死について、
深く問い合わせる一冊だ。

あまりに切ないエピソードが続出
し、食事中には絶対に読みたくない
箇所もある。だが、後味は悪くない。
それは、故人に対する思いや遺族へ
のいたわりといった著者の真摯な姿
勢が、控えめながらも朴訥に綴られ
ているからだ。

遺品整理屋は見た!! 天国へのお引越しの手伝い

吉田太一 扶桑社 1260円

壮絶な現場体験を通じて「孤独死」を考えさせる一冊

text 新川貴詩



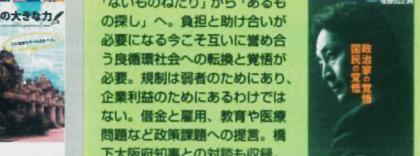
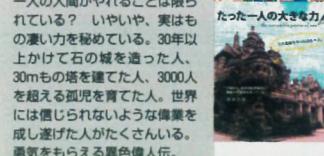
たった一人の大きな力

蓮見太郎 宝島社 890円

政治家の覚悟 国民の覚悟

後藤田正純 扶桑社 1575円

政治



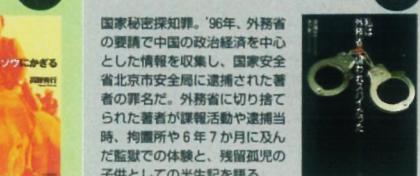
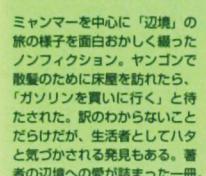
辺境の旅はソウにかざる

高野秀行 本の雑誌社 1575円

私は外務省の備われスパイだった

原博文 本沢勝 訳 小学館 1575円

外交



text 森山和道 杉江あこ

遺品整理屋は見た!!

天国へのお引越しのお手伝い
吉田太一 キーパーズ(扶桑社刊)

'02'64年、大阪府生まれ。日本料理の板前、運送業などを経て、
02'64年に日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立。

家族の温かさを伝えるホームコメディ。
人生、なかなか捨てたもんじゃない!

text 谷口隆一

オトコノはどうしてこんなに弱くなってしまったのか。バージニア工科大学での乱射事件に土浦での連続殺傷事件。そして秋葉原。蔑まれたとかモテないといった理由で暴発したオトコノたちが、銃やナイフで無関係な人の命を奪い、自身も破滅へと突き進む。

明日にも殺されるというわけでもないのに勿体ないと、大阪の母ちゃんだったら思うだろう。アホやと切って捨てるだろう。内緒で借金をこしらえ嘘ばかりつく夫に愛想を尽かした桜子は、夫が会社に行っている間に家を捨て、娘のあつ子と息子のマルモを連れて横浜に夜逃げ。子供を連れ中心なんてカケラも思わず、キリスト教の教会が運営しているハウスに転がり込んでは、パートに精を出し、恋もしながら毎日をしっかり生きていく。金策に困った夫が大阪から追いかけてきても、部屋には入れずに追い返す。

仕事からも借金からも逃げてばかりの父ちゃんも、死んだり自暴自棄にならないのは、生き

てさえいれば何か楽しい
ことがあるかもしれない
と思っているから。強い
母ちゃんとしぶとい父ち
ゃんを見て育てば、子ど
もだって歪まない。死ん
だりしないし殺したりも
しない。絶対に。

アニメ「ちびまる子ちゃん」の脚本家によるオ
リジナル小説は、家族の
温かさを伝えるホームコ
メディ。弱まるオトコノ
たちに喝を入れ、前を
向かせる効果も大。読ん
で生き抜く力をもらおう。



転がるマルモ
篠崎絵里子 メディアファクトリー 1260
円 本作が著者の姫女小説となる